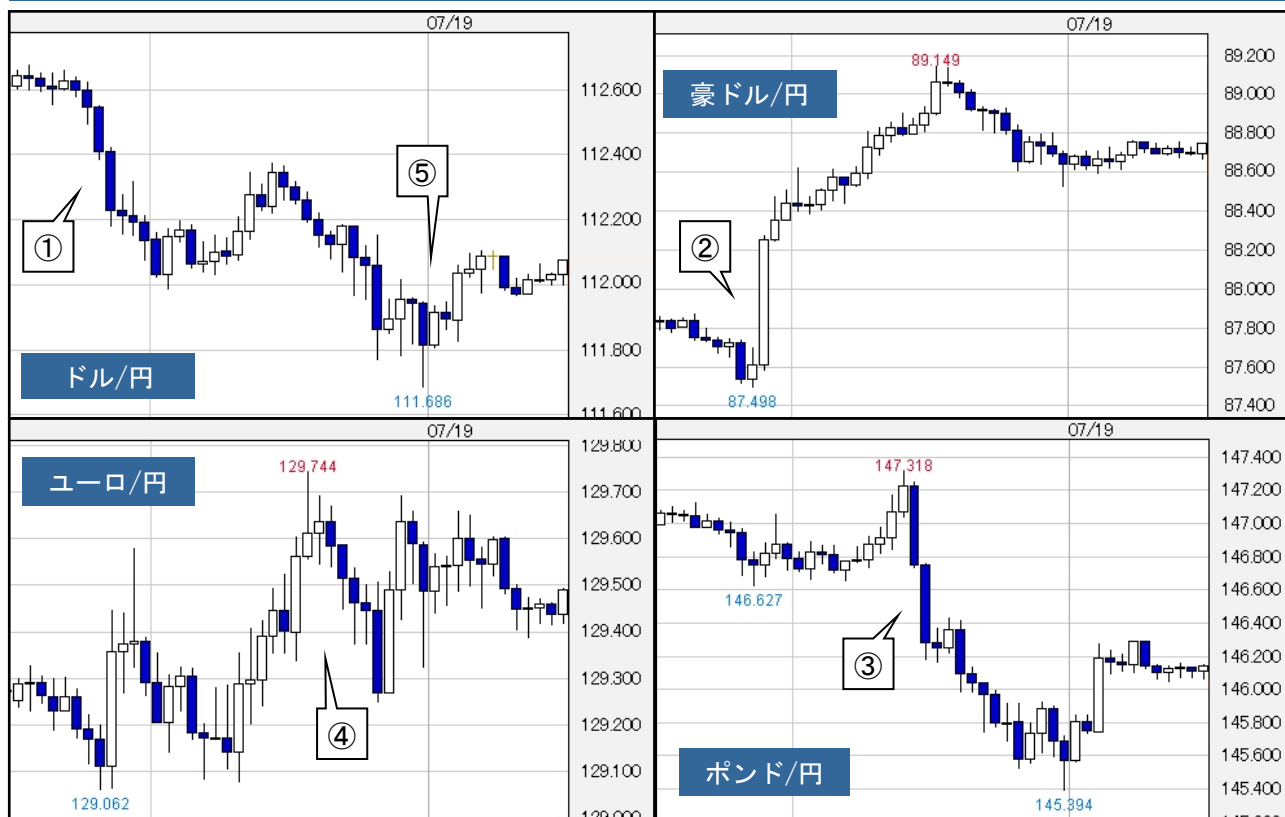


7月19日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル全面安の様相

18日(火)の為替相場



期間：18日(火)午前6時10分～19日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 「米上院共和党で更に2人がヘルスケア法案に反対する見込み」との報道を受け、同法案可決が困難との見方が強まった。これによりトランプ米大統領の経済政策が停滞するとの観測からドル売りが優勢となった。
- ② 豪準備銀行(RBA)理事会の議事録が公表され、豪州の労働市場の改善や堅調な公共投資、家計消費が上向いている事を背景に、より明るい経済見通しが明らかとなった。また、中立金利については3.5%前後との推計値を示した。これらを受けて豪ドル買いが強まった。
- ③ 英6月消費者物価指数が前年比+2.6%、コア・前年比+2.4%と、いずれも予想(+2.9%、+2.6%)を下回った。英6月生産者物価指数が前年比+3.3%、英6月小売物価指数も前年比+3.5%といずれも予想(+3.4%、+3.6%)を下回った事も重石となり、ポンド売りが強まった。
- ④ ③を受けてユーロ/ポンド相場場でユーロ買い・ポンド売りが強まり、ユーロ/円は一時129.70円台まで上昇。①を背景にユーロ/ドル相場場でユーロ買い・ドル売りが強まっていた事も追い風となった。なお独7月ZEW景気期待指数は17.5と予想(18.0)を下回ったが、反応は薄かった。
- ⑤ ①に反応してNYダウ平均が下落し、米長期金利が低下すると、ドル/円は一時111.60円台まで下落。ただ、その後は同株価が下げ幅を縮小する中でやや値を戻した。

18日(火)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19999.91 (▼118.95)	5687.393 (▼68.077)	3187.567 (△11.102)	7390.22 (▼13.91)	12430.39 (▼156.77)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21574.73 (▼54.99)	0.0720 (▼0.0110)	2.744% (△0.013%)	1.207% (▼0.063)	0.554% (▼0.027)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3477% (▼0.0080)	2.2590% (▼0.0551)	46.40 (△0.38)	1241.90 (△8.20)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.600-112.800	128.500-129.900	88.100-89.300	145.000-146.700

【ドル/円】

昨日のドル/円は、一時3週間ぶりの安値となる111.60円台まで続落するなど軟調に推移。米上院でヘルスケア(オバマケア代替)法案の可決が困難となり、トランプ政権の政策遂行能力に対する不信感が広がった。米政治情勢の混迷は今に始まった事ではないが、米経済が減速気味との見方と相まってドルが全面的に下落している。こうした流れを覆す材料は目先に見当たらず、ドル/円は本日も上値の重い展開が続くそう。ただ、チャート上には底入れの兆しも見出せる。昨日は安値を付けた後に切り返して200日移動平均線を回復。その安値は、ほぼ6-7月の上げ幅の半値押し(111.639円)という象徴的な水準だ。本日も、200日移動平均線(執筆時111.827円)でサポートされるようなら底入れ完了との見方に繋がる可能性もあろう。

執筆者: 神田

本日および明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/19(水)	18:00		(ユーロ圏) 5月建設支出 (前月比)	+0.3%	—
	20:00		(米) モルガン・スタンレー決算	—	—
	21:30	○	(米) 6月住宅着工件数	109.2万件	116.0万件
	21:30	○	(米) 6月建設許可件数	116.8万件	120.1万件
	23:30	○	(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
7/20(木)	08:50	○	(日) 6月貿易収支	-2042億円	+4880億円

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。